


教会を生みだした元気

2009/5/31

ペンテコステ礼拝



教会誕生までの出来事

- ナザレのイエスの出現
 - 弟子を集める
 - イエスの不思議な行動と教え
 - 数々の奇跡
 - 死と復活の予告
 - イエスの十字架上の死
 - イエスの復活
 - イエスの昇天
-



弟子たちの不安・葛藤・恐怖

- 目に見えない人を生きている人, しかも救い主(キリスト)だと伝える「不安」
- ユダヤ人以外の人に, 神の教えと祝福を分かち与えることに対する「葛藤」
- 自分たちもイエスと同じように殺されるのではないかという「恐怖」



イエスをキリストだと伝える不安

- イエスは「わたしの証人となる」と告げた
 - 「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」＜使徒1:8＞
- 見ることも会うこともできない人物を救い主（キリスト）であると証言して、誰が信じるか
 - 復活のイエスに出会って信じない弟子もいた



不安をぬぐいさる出来事

- ペンテコステ(五旬節の祭り)の日に起こった不思議な出来事
 - 弟子たちが集まっていると「炎のような舌」が一人一人の上に現れ、全員が自分たちの知らない「ほかの国々の言葉で話した」
- この物音を聞いて多くの人が集まってきた
 - 彼らは弟子たちが自分の故郷の言葉で話しているのを聞いて驚いた
- 集まってきた人々にペトロは、イエスは復活し、今も生きているキリストであると語った



異邦人に福音を伝える葛藤

- 最初の弟子たちはユダヤ人であり、ユダヤ人は自分たちだけが(律法を守る者だけが)神の祝福にあずかれる、と信じていた
 - イエスは「サマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる」と言われた
- 何千年にも渡って律法を守ってきた誇り
 - 律法を守らない者は「罪人」
- イエスをキリストだと信じるだけで罪赦されることへの抵抗



葛藤に終止符を打つ出来事

- コルネリウスの家での出来事＜使徒10章＞
 - ペトロが見た幻と経験
 - 最初の異邦人クリスチャンの誕生
- 外国宣教での出来事
 - パウロの宣教では、ユダヤ人よりも異邦人の方がイエスをキリストと信じた
- エルサレム会議＜使徒15章＞
 - 異邦人クリスチャンには律法を守らせる必要はないとの決定が下された



死の恐怖

- ステファノの殉教
 - 「モーセの慣習を変える」教え
- 12弟子の一人ヤコブの殉教
- ペトロの投獄
- ネロ皇帝による大迫害
 - パウロとペトロの殉教
- 日本における迫害



死の恐怖に打ち勝つ約束

□ イエスがうちに生きておられる実感

- 「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。」
＜ガラテヤ2:20＞

□ イエスの約束

- 「イエスは言われた。『わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。』」＜ヨハネ11:25＞



あなたが乗り越えるべき壁

- 不安
 - 将来・失敗・貧しさ
- 葛藤
 - 自分の信念と社会
- 恐怖
 - 死・孤独・挫折

復活した救い主
イエス・キリスト